

科学技術の潮流

143

JST研究開発戦略センター

予算成立

3月15日、米国連邦政府の2022会計年度(21年10月~22年9月)予算が成立した。議会が可決した予算法案に、大統領が署名したものだ。総額は約1・5兆ドルで前年度比6%増であるが、インフレ率を考慮すると実質増は大きくないとの見方もある。

一方、研究開発の面では、同予算により新設された二つの資金配分組織が注目を集めた。一つは医療高等研究計画局(ARPAI

H)、もう一つは国立科学財団(NSF)内

の技術・イノベーション・パートナーシップ(ARPA-H)設立構想

に関する一連の討論会

に開催し、研究者、企業、TIPはこれらの面組織に共通するの

ARPA-Hはバイデ

ン政権肝いりの構想

社会課題対応

業、非営利団体や患者局と協働して分野横断は、イノベーション志向の研究開発で社会的

で、国防高等研究計画

支援組織など多様な利

害関係者と議論を深める

。具体的には、人工課題にアプローチする

局(DARPA)をモ

デルとしたトップダウン

型プロジェクトマネ

ジメントを導入し、Hの活動を具体化させ

がんや認知症などの疾

患研究において革新的

TIPはNSFが30

年ぶりに新設する局

ていく予定だ。

実装を促進するための

セクター間連携や人材

育成も支援する。

米、イノベ投資強化へ新組織



科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センターフェロー(海外動向ユニット) 長谷川 貴之

JST入職後、地域事業、情報事業、国際事業、日本学術振興会出向などを経て、18年より現職。米国の科学技術政策動向調査を担当。

米国は2つの資金配分組織を新設

(【 】は2023予算教書の提案額)

医療高等研究計画局(ARPA-H)【50億ドル】	<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉省の直轄組織として国立衛生研究所(NIH)に設置(予定) がんや認知症などの疾患を対象に革新的な成果を創出
技術・イノベーション・パートナーシップ局(TIP)【約9億ドル】	<ul style="list-style-type: none"> 国立科学財団(NSF)に設置 重要・新興技術を中心とした研究開発を推進

こうした取り組みは欧州などでも活性化している(本欄2月11日記事参照)。資金規模だけでなく、政策的位置付けや方法論も含め注視すべき動向といえる。(金曜日掲載)